

♥ 「いい夫婦の日」アンケート結果 2011

「いい夫婦の日」をすすめる会では、夫婦の今を知り、素敵な夫婦の明日を築く道標となることを願って、既婚者を対象にしたアンケートを2007年から実施しています。
今の夫婦の「気持ち」「暮らし」「コミュニケーション」「将来」などをまとめています。
ぜひ、ご覧ください。

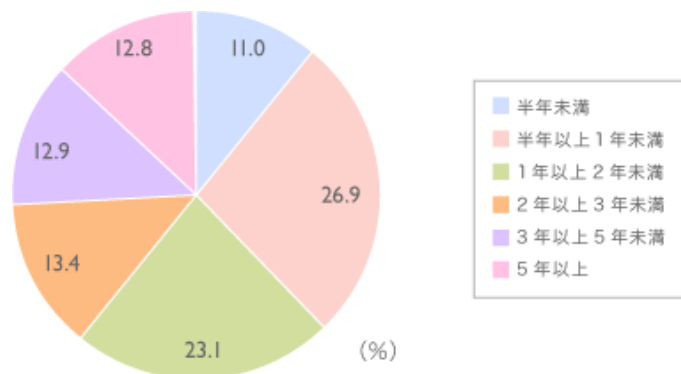
※対象者：調査会社モニターより抽出した、18歳以上の既婚者（男女）(n=800)

- Q1. あなた方ご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされていましたか。
Q2. あなたは、生まれ変わったとしたら、今のパートナーを選びますか。
Q3. 今のパートナー（夫もしくは妻）を選んだ理由を教えてください。
Q4. あなた方ご夫婦は今円満だと思いますか。
Q5. あなたが夫婦円満のために、大切だと思うことは何ですか。最も優先順位の高いものを3つ教えてください。
Q6. あなたがパートナーに直して欲しい・やめて欲しいことは何ですか。
Q7. あなたが最も愛情を感じる言葉を、思いっただけ教えてください。
Q8. 一日のあなた方ご夫婦での会話時間はどれくらいですか。
Q9. 3月11日の震災後、ご夫婦の関係に変化はありましたか。
Q10. あなた方ご夫婦ふたりだけでできることがある項目を、それぞれ「現在・未来」で、あてはまるもの全てを教えてください。
Q11. あなたは11月22日が「いい夫婦の日」であることを知っていますか。
Q12. いい夫婦の日(11月22日)に記念日として何かするとしたら、何をしたいですか。
Q13. あなたがパートナーから記念日に欲しいプレゼントは何ですか。あてはまるものを全て教えてください。

Q1. あなた方ご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされていましたか。

全体では、「半年以上1年未満」が26.9%、「1年以上2年未満」が23.1%がボリュームゾーンで約半数を占めています。一方、「半年未満」の11.0%を含めると、「交際期間1年未満に結婚する人が37.9%で、昨年同様です。1年未満に結婚する人は約4割近くを占めていて、逆に「5年以上」12.8%は、昨年(16.4%)より若干減少しています。

層別でみると、「2年未満」では【別の人を選ぶ】層が64.7%で他層よりやや高めとなっています。



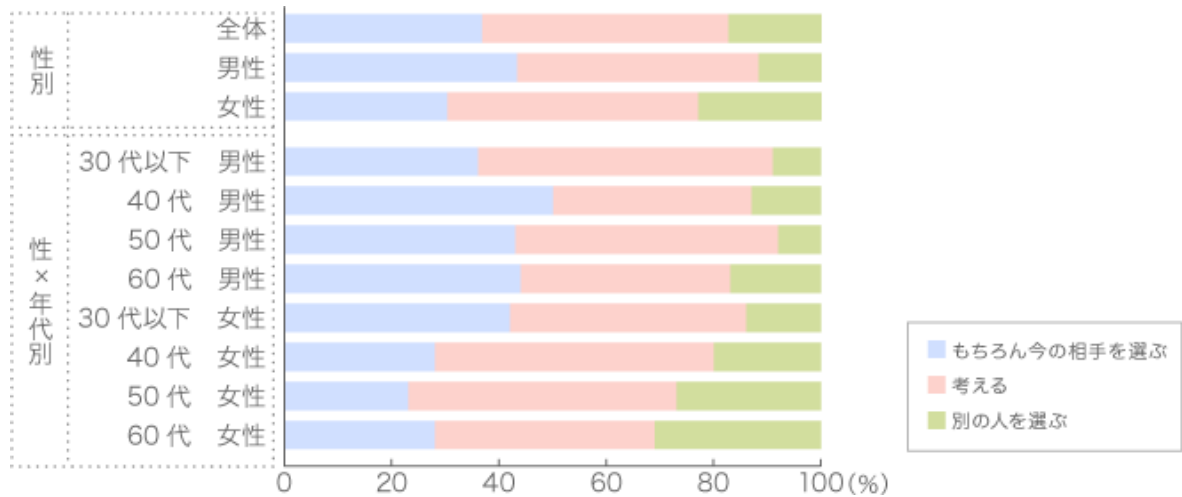
Q2. 生まれ変わったとしたら、今のパートナー（夫もしくは妻）を選びますか。

全体では、「考える」が約45.9%で最も高い。次いで「もちろん今の相手を選ぶ」が36.8%。ほぼ前年と同様ですが、「考える」割合が、約2%上がっています。

性別でみると「もちろん今の相手を選ぶ」では、男性43.3%に対し女性が30.3%で、男性の方が13ポイント高くなっています。一方、「考える」では、女性の方が男性よりも1.8%高く、「別の人を選ぶ」に至っては、女性が11.2%も高くなっており、前年の2倍以上です。

性×年代別でみた「もちろん今の相手を選ぶ」では、男性：40代が50%で最も高く、次いで、男性：60代が44%。女性：50代は23%に留まっています。

「別の人を選ぶ」では、女性：60代が31%で最も高く、女性は年齢が上がるにつれスコアアップとなっています。



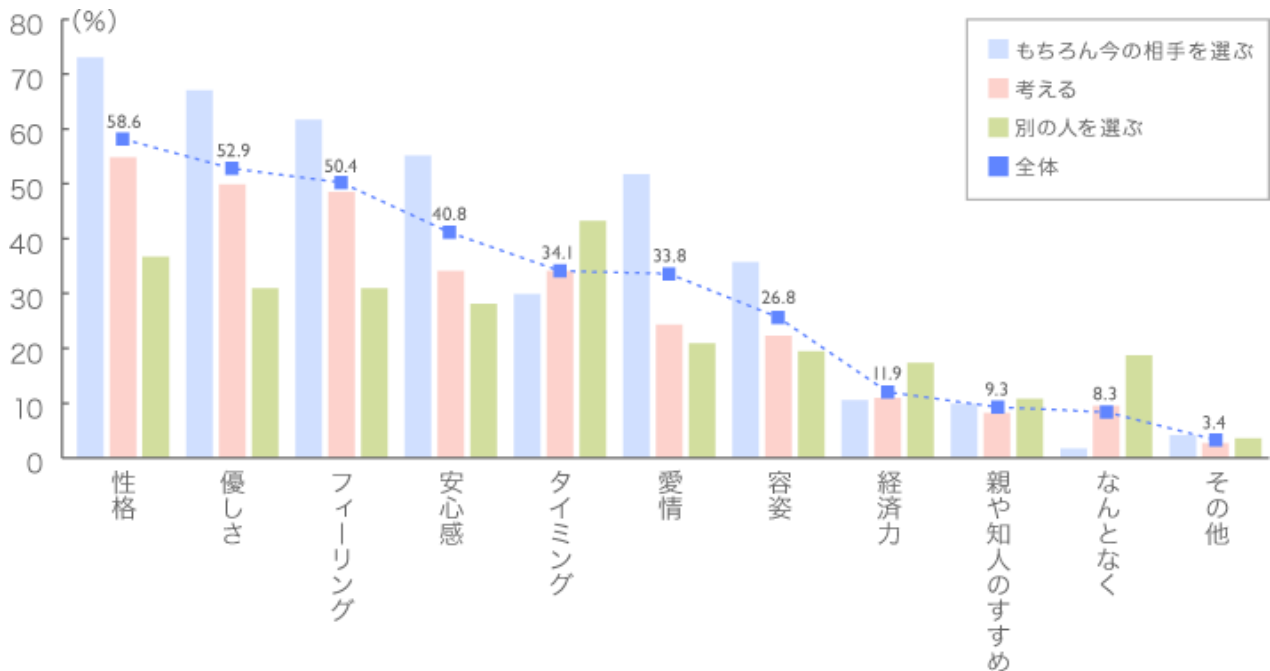
Q3. 今のパートナー（夫もしくは妻）を選んだ理由を教えてください。

全体では、「性格」が58.6%で最も高く、次いで、「優しさ(思いやり)」(52.9%)「フィーリング」(50.4%)「安心感」(40.8%)が4割以上と続き、ほぼ前年同様です。

性×年代別で見ると、男女ともに30代以下の「性格」が全体より10ポイント以上高くなっています。(男性70%、女性72%)

また、男女ともに30代以下の「優しさ(思いやり)」でも全体より10ポイント以上高い結果となっています。(男性64%、女性72%)

男女ともに30代以下の若年層のスコアが全体に高めとなっており、相手への関係性の鮮度や関心度の高さが推測されます。



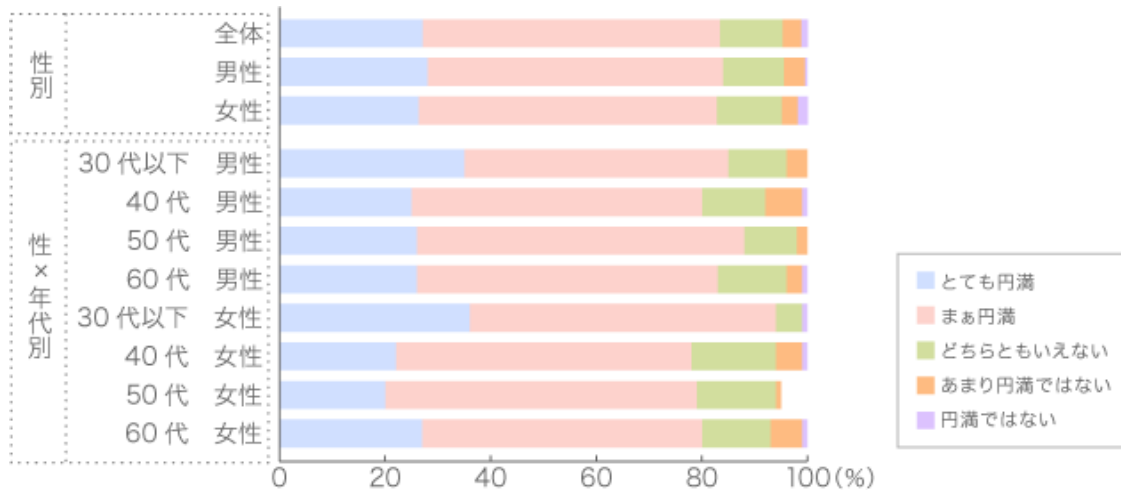
Q4. あなた方ご夫婦は今円満だと思いますか。

全体では、「とても円満」が27%。「まあ円満」(56%)まで含めた「円満計」が83%と、前年(82%)とほぼ同様の結果になっています。「円満ではない計」は5%に留まっています。

性×年代別で見ると、「とても円満」では、男女ともに30代以下が3割を超えています。

「円満計」では、女性:30代以下が94%で最も高く、次いで、男性:50代が88%、男性:30代以下が85%と、円満度は高い結果となっています。

「円満ではない計」は、前年同様「40代男性」が8%と最も高いものの、数値的には前年18%と比較すると10%減少しており、状態はやや改善傾向にあるという予測ができます。



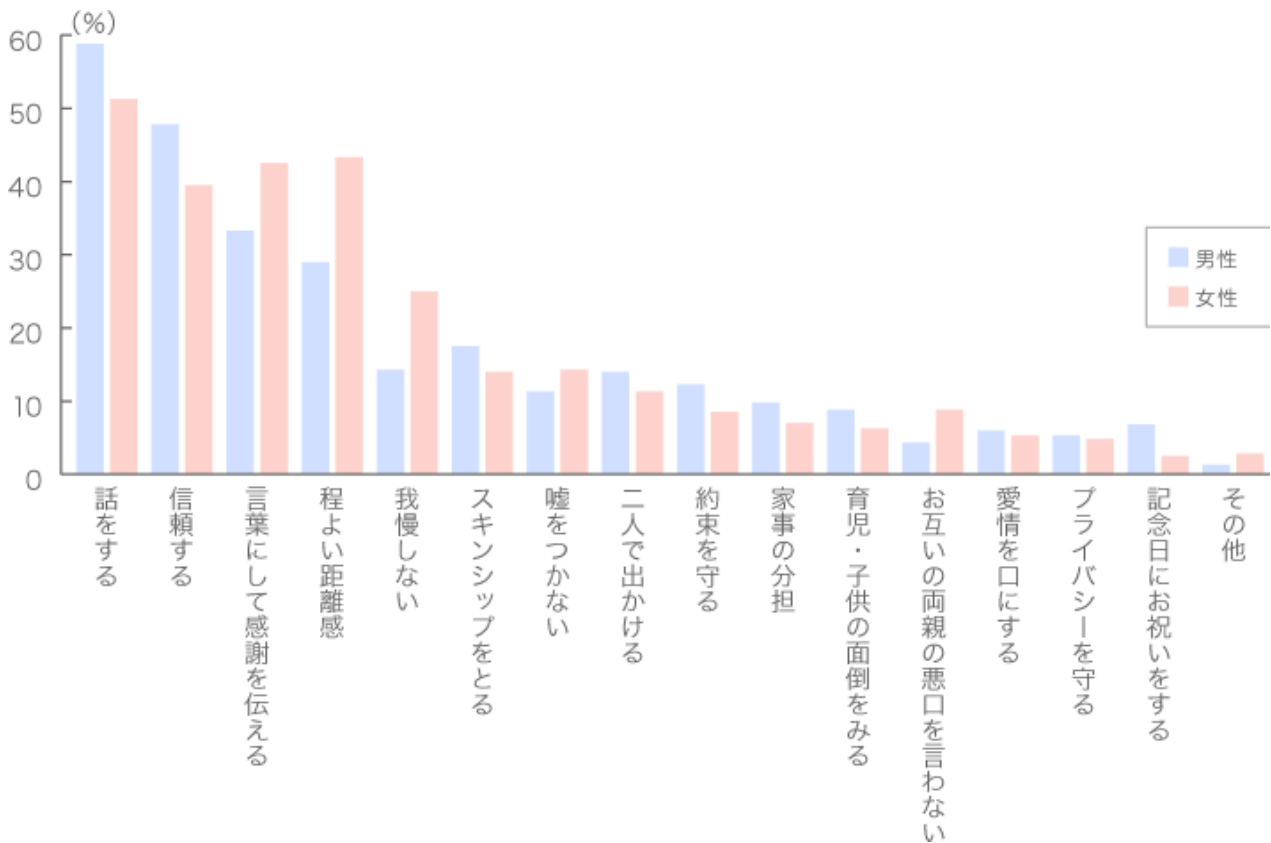
Q5. あなたが夫婦円満のために、大切だと思うことは何ですか。最も優先順位の高いものを3つ教えてください。

全体では、「話をする・聞く」が55%で最も高く、次いで、「信頼する」(43.6%)、「言葉にして感謝を伝える」(37.9%)、「程よい距離感」(36.1%)が続く結果となりました。

性別での傾向としては、上位5項目において、男女によるポイント差が大きくなっているという傾向が窺えます。

「程よい距離感」は14%・「言葉にして感謝を伝える」10%という大きな差で女性の割合が高くなっています。

性×年代別でみると、「話をする・聞く」では、男性:40代(62%)・男性:50代(67%)が6割以上で他層より高い結果です。「信頼する」では、男性:50代・男性:60代が5割以上で、前年と逆で「男性」の方が重視している割合が全体に高くなっています。「言葉にして感謝を伝える」では、女性30代以下が49%・女性40代で46%と高く、男性:60代が23%で最も低くなっており、その差は26ポイントと大きくなっています。

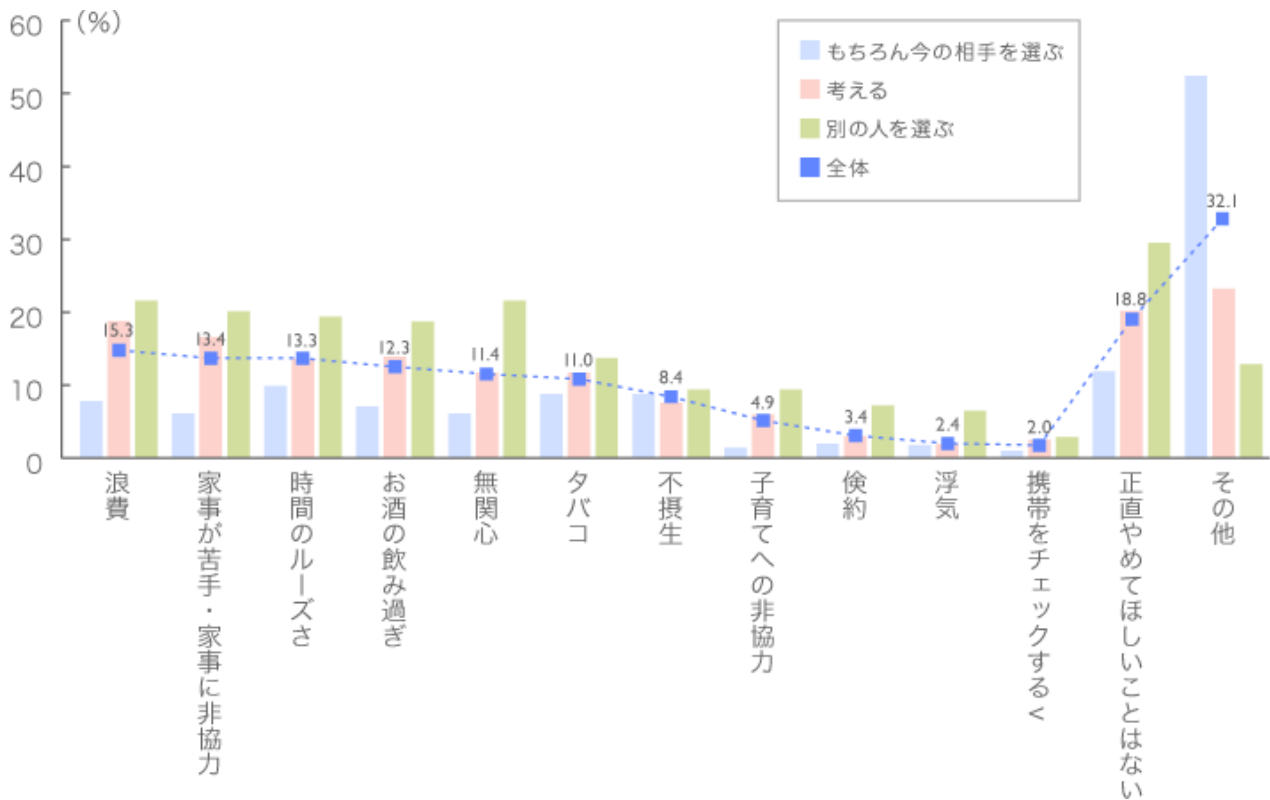


Q6. あなたがパートナーに直して欲しい・やめて欲しいことは何ですか。

全体では、「直して欲しい・やめて欲しいことはない」が32%で最も高い結果です。具体的に直して欲しい・やめて欲しいことは、「浪費」(15%)、「家事が苦手・家事に非協力」・「時間のルーズさ」(13%)・「お酒の飲みすぎ」(12%)・「無関心」・「タバコ」(11%)が続く結果となりました。

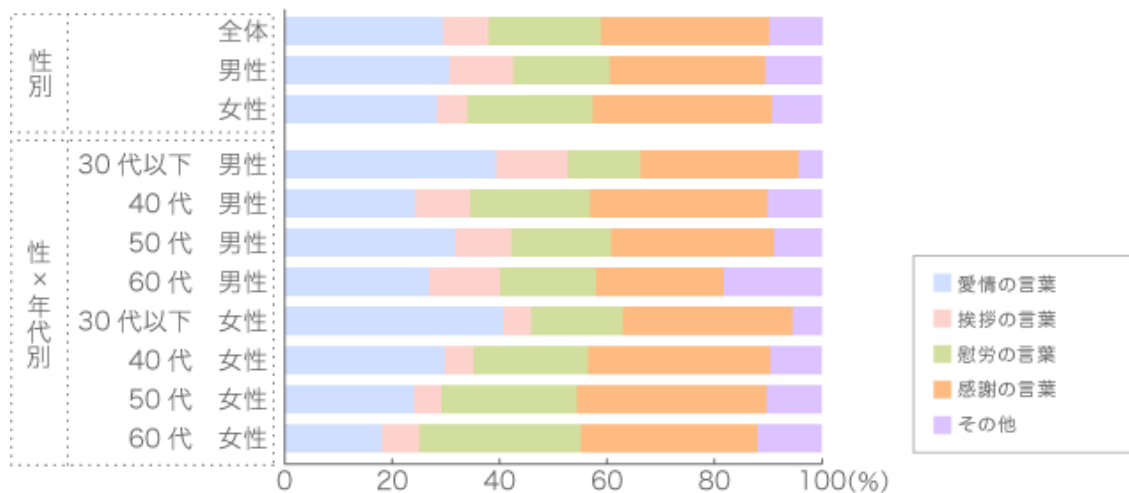
層別でみると、【もちろん今の相手を選ぶ】層では「直して欲しい・やめて欲しいことはない」が52%で過半数以上。

一方、【別の人を選ぶ】層は他層よりスコアが高い項目が多く見られ、【もちろん今の相手を選ぶ】層と最も差が大きいのは「無関心」で16ポイントの差という結果になっています。【別の人を選ぶ】層の「その他の直して欲しい・やめて欲しいこと」が約3割存在しています。



Q7. あなたが最も愛情を感じる言葉を、思いつくだけ教えてください。

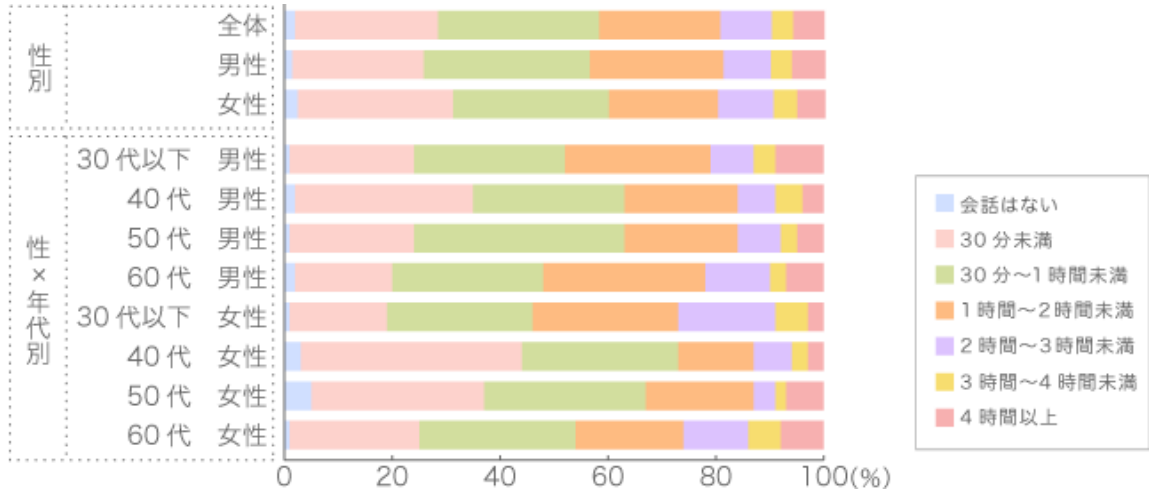
全体では、「感謝の言葉」が31.4%で最も高く、次いで、「愛情の言葉」(29.4%)、「慰労の言葉」(20.9%)が続きました。「感謝」と「愛情」がほぼ同率という結果になりました。
 性別でみると、「感謝の言葉」では、男性29%に対し女性が33.4%で、女性の方が5ポイント高く、「慰労の言葉」では、男性17.9%に対し女性が23.4%で、女性の方が5ポイント上回る結果となりました。
 性×年代別でみると、「感謝の言葉」では、女性:50代が35.4%で最も高く、男性:60代が23.8%で最も低くなっており、その差は11ポイントとなりました。「愛情の言葉」では、女性:30代以下が40.7%で最も高く、次いで、男性:30代以下が39.3%、男性:50代が31.8%となっています。
 以上の結果より、若年女性層は「愛情」、そして年齢が高くなると「感謝」「慰労」など、日常生活における女性の負担を労う気持ちを「思いやり」として言葉にしてほしいという傾向に移行していくと推測できます。



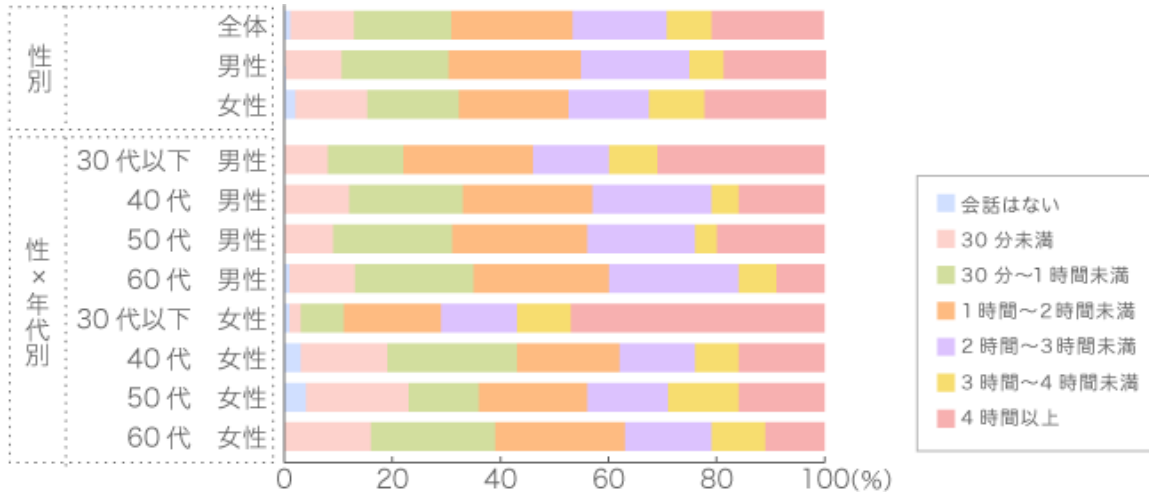
Q8. 一日のあなた方で夫婦での会話時間はどれくらいですか。

全体では、「30分～1時間未満」が30%で最も高い。次いで、「30分未満」が27%。平日の夫婦の会話は1時間未満が6割弱。性×年代別でみると、「30分～1時間未満」では男性:50代が39%で最も高い。女性:50代が30%で続きます。
 「30分未満」では、女性:40代が41%で最も高く、「30分～1時間未満」(29%)まで含めた「1時間未満」が約7割となっています。
 性×年代別でみると、「4時間以上」では男女ともに30代以下(男性:31%、女性:47%)が他年代より高く、女性の方が16ポイント上回っています。一方、男女ともに40代以上では1時間未満が3割以上を占めており、女性:40代は4割に達している結果となっています。
 日常の忙しさとすれ違い、また特に日本人らしいといわれる「夫婦間のコミュニケーション不足」が予測される結果となりました。

【平日】



【休日】



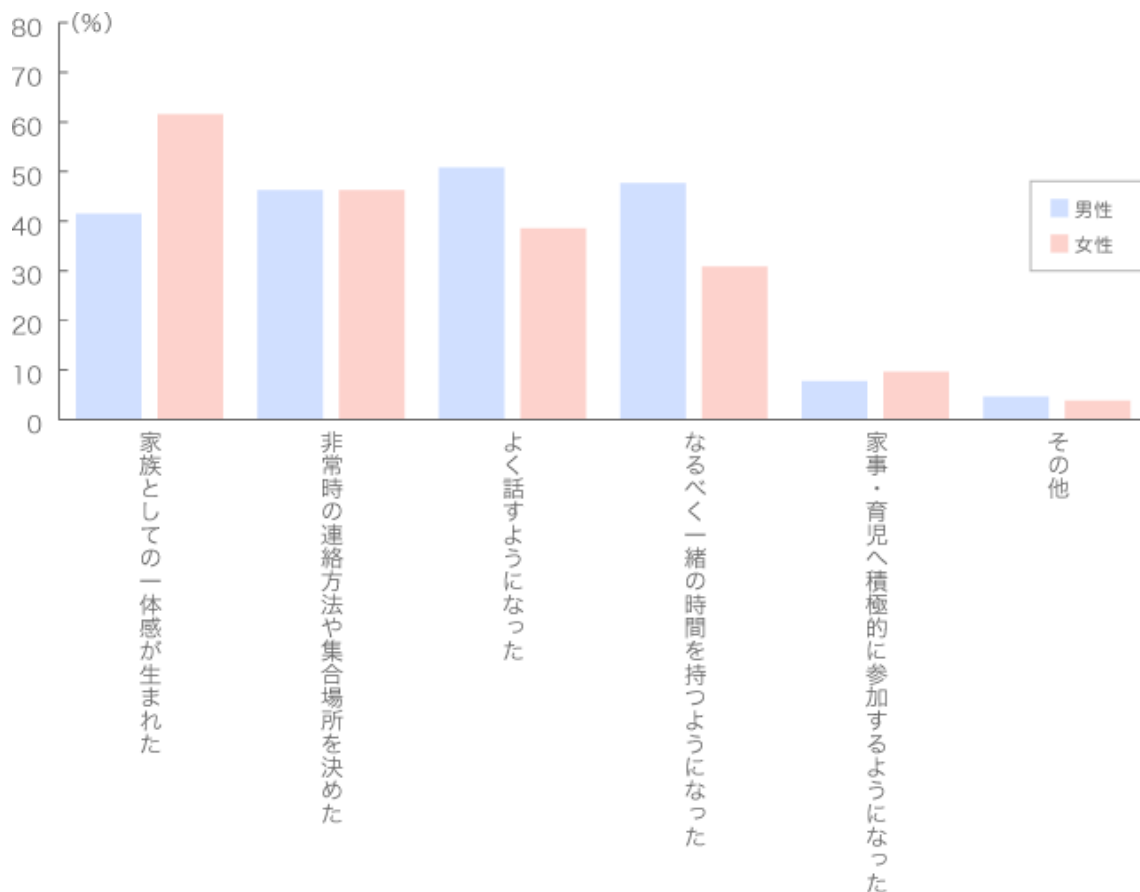
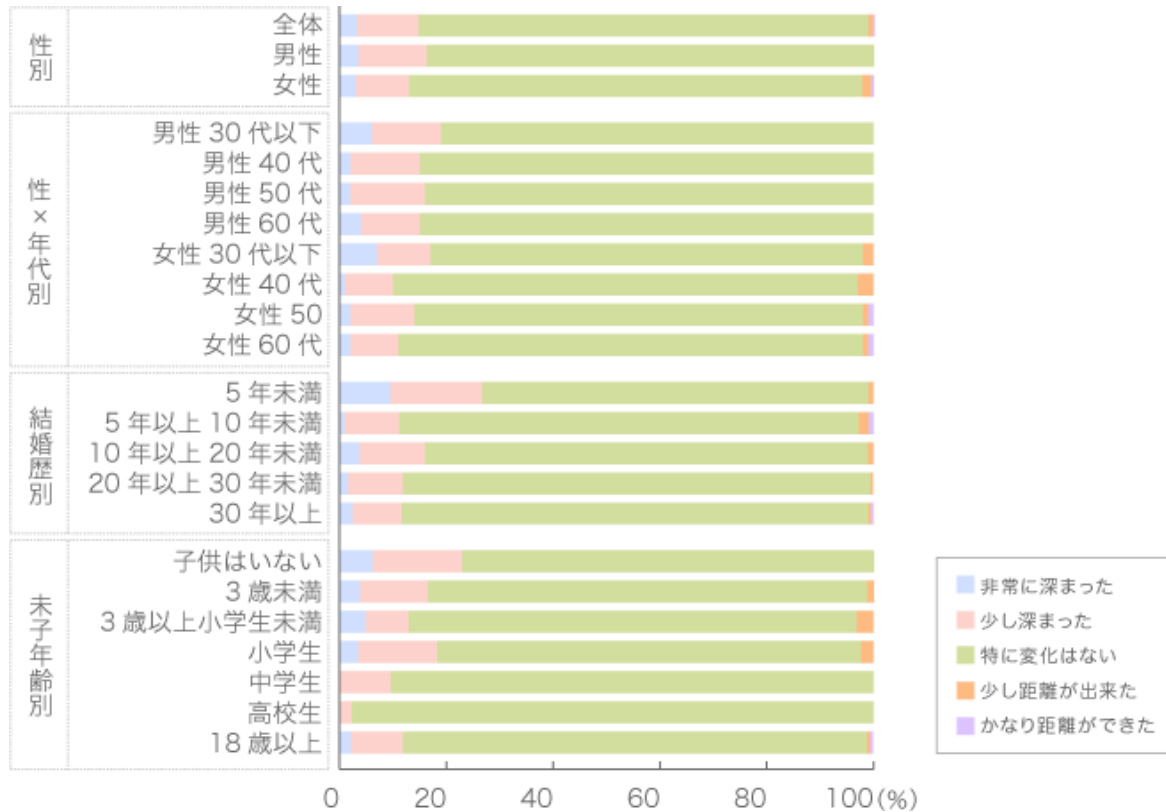
Q9. 3月11日の震災後、ご夫婦の関係に変化はありましたか。

全体では、「特に変化はない」が84%で圧倒的でした。次いで、「少し深まった」が11%、「非常に深まった」が3%となっており、合せた「深まった計」が14%という結果になりました。逆に「距離・溝ができた計」は約1%で、あまり影響はなかったものと考えられます。

性×年代別でみると、「特に変化はない」では女性:40代・女性:60代が87%で他層よりやや高くなっています。「結婚歴の短い夫婦」、及び「夫婦二人の家庭」の方が、夫婦関係が深まったという結果になっています。

夫婦の関係に変化があった方の、変化があった事柄を見ると、全体では、「家族としての一体感が生まれた」が50%で最上位項目に挙げられています。

次いで、「非常時の連絡方法や集合場所を決めた」(46%)、「よく話すようになった」(45%)、「なるべく一緒に時間を持つようになった」(40%)と続いています。



Q10. あなた方ご夫婦ふたりだけですることがある項目を、それぞれ「現在・未来」で、あてはまるもの全てを教えてください。

男性

現在は、「買い物」が81.8%で最も高く、次いで、「外食」(76.3%)、「旅行」(68%)と支持が高く、「映画・演劇・コンサート鑑賞」(44.3%)が続く結果となっています。

前年とはトップが入れ替わり、かつ、トップの「買い物」は5%近く伸ばした結果になっています。

未来でも、順位は同じで、しかし、上位3項目の差は縮小しています。「旅行」「映画・演劇・コンサート鑑賞」など、活動的な項目も含め、未来の希望の方がポイントが高く、男性は将来的に妻と一緒に多方面に活動的に過ごしたいと希望している結果が窺えます。

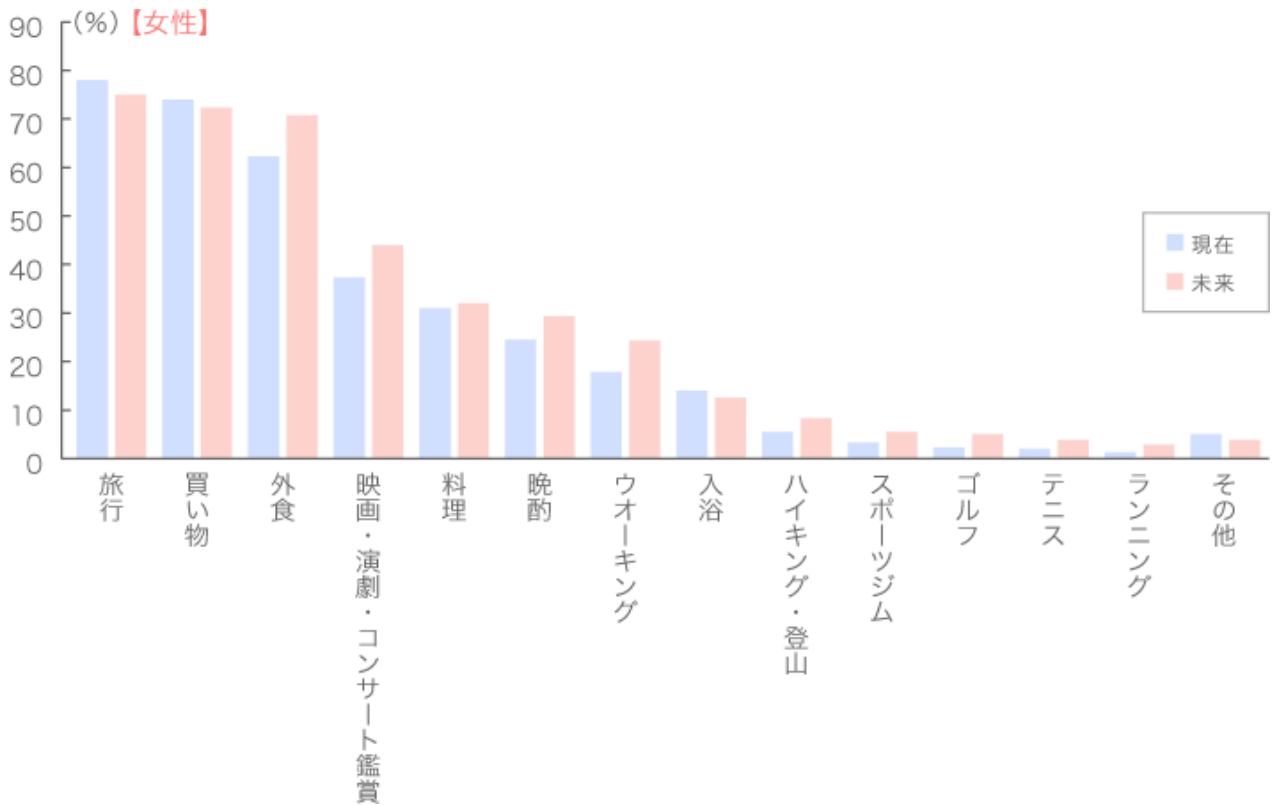
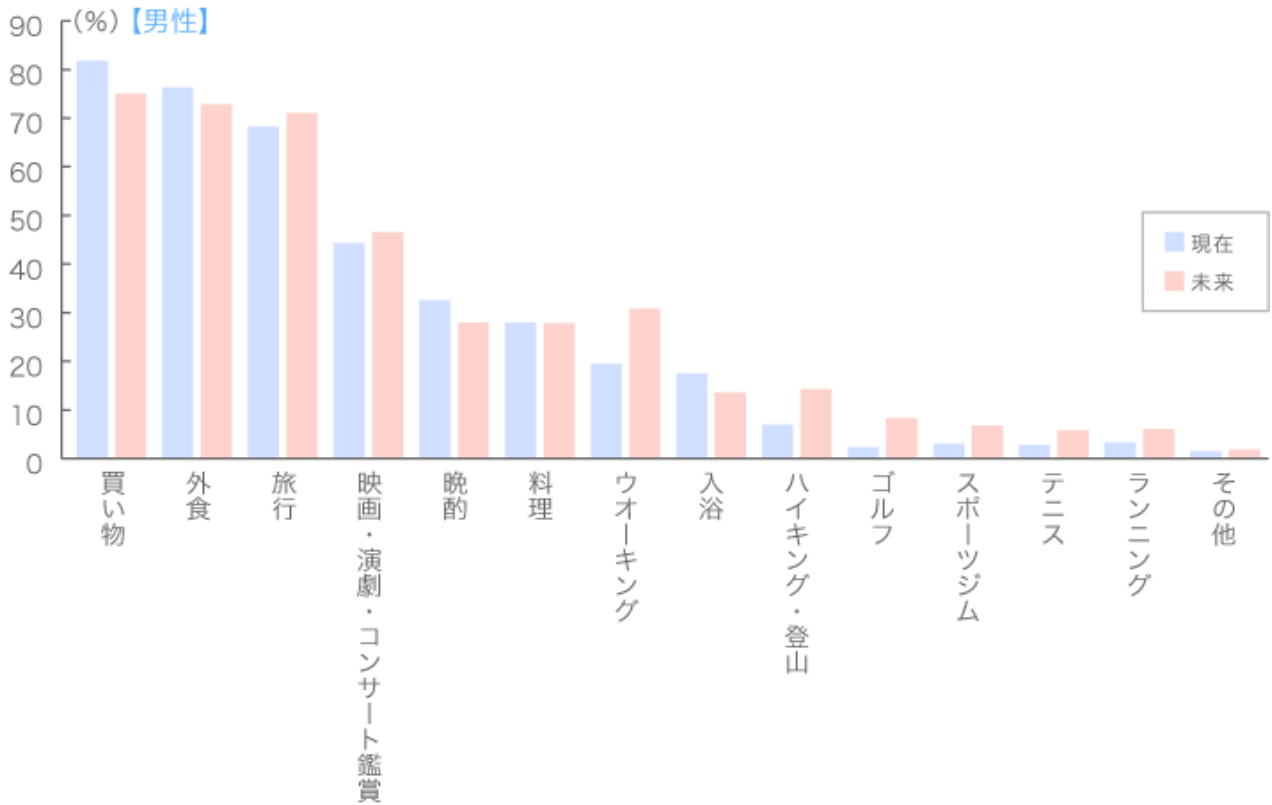
女性

現在「旅行」(78%)・「買い物」(74%)・「外食」(62.3%)がトップ3。前年と大きな違いはないようです。

次いで、「映画・演劇・コンサート鑑賞」(37.3%)、「料理」(31%)、「晩酌」(24.5%)が2割以上で続いており、多少の増減はあるものの、前年と大きな変化はみられないようです。

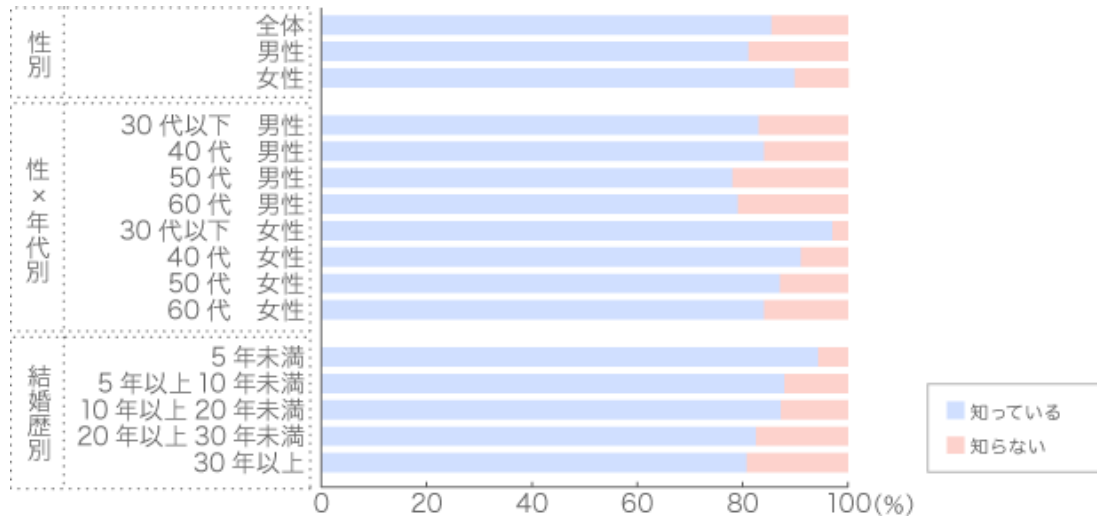
未来でも、順位は同じ。しかし、上位3項目の差は縮小していて、特に「外食」が8%ほどアップしており、昨年と比べても伸び率は大きく、日頃節約・自粛傾向にあることも推測できる結果となっています。

その他、「映画・演劇・コンサート鑑賞」「ウォーキング」「ハイキング」などの活動的な項目については、男性同様、未来の希望の方がポイントが高くなっています。



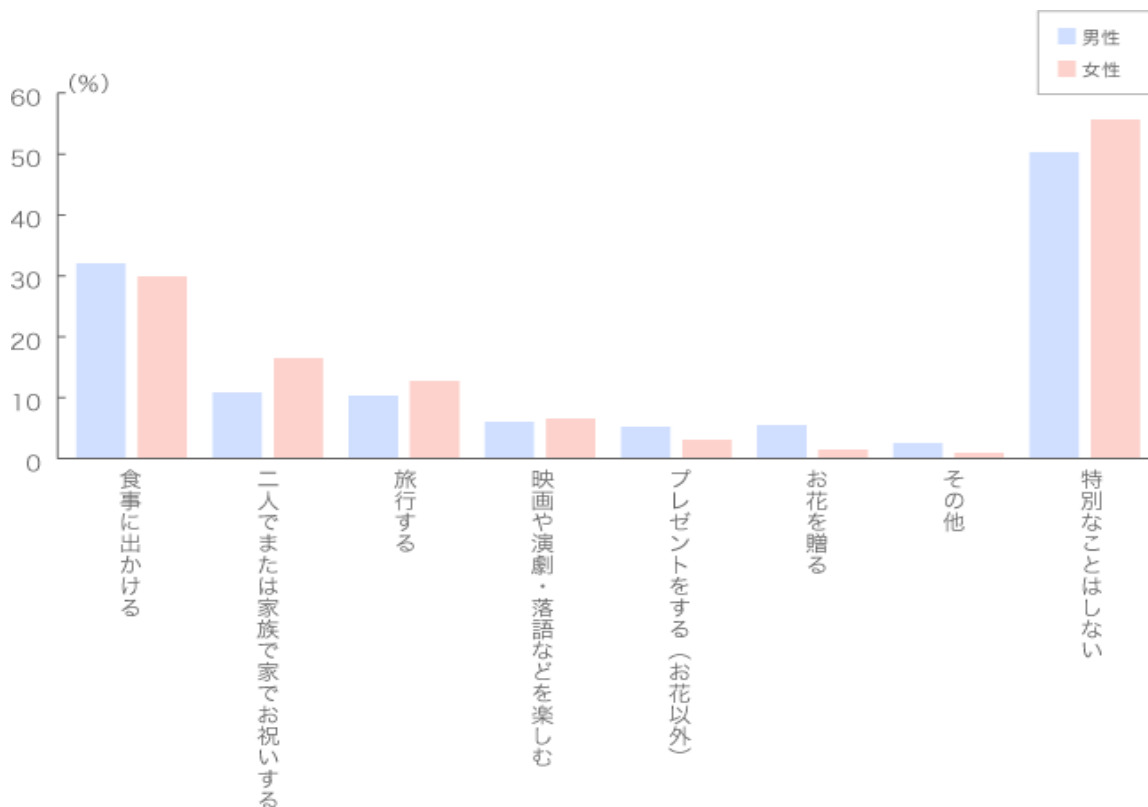
Q11. あなたは11月22日が「いい夫婦の日」であることを知っていますか。

全体では、「知っている」が85.4%を占めており、前年77.3%から約8%と大きく向上したことから、大きく浸透が進んだと言える結果となりました。性別でみた「知っている」では、男性81%に対し女性が90%で、女性の方が9ポイント上回っています。男女ともに上がっているものの、特に男性昨年男性の前年69.0%からの飛躍は、全体の認知度向上に大きく影響していると言えます。性×年代別でみた「知っている」では、女性30代以下(97%)・女性40代(91%)が9割以上。女性50代が87%で続き、女性にはかなり認知されている結果となっています。



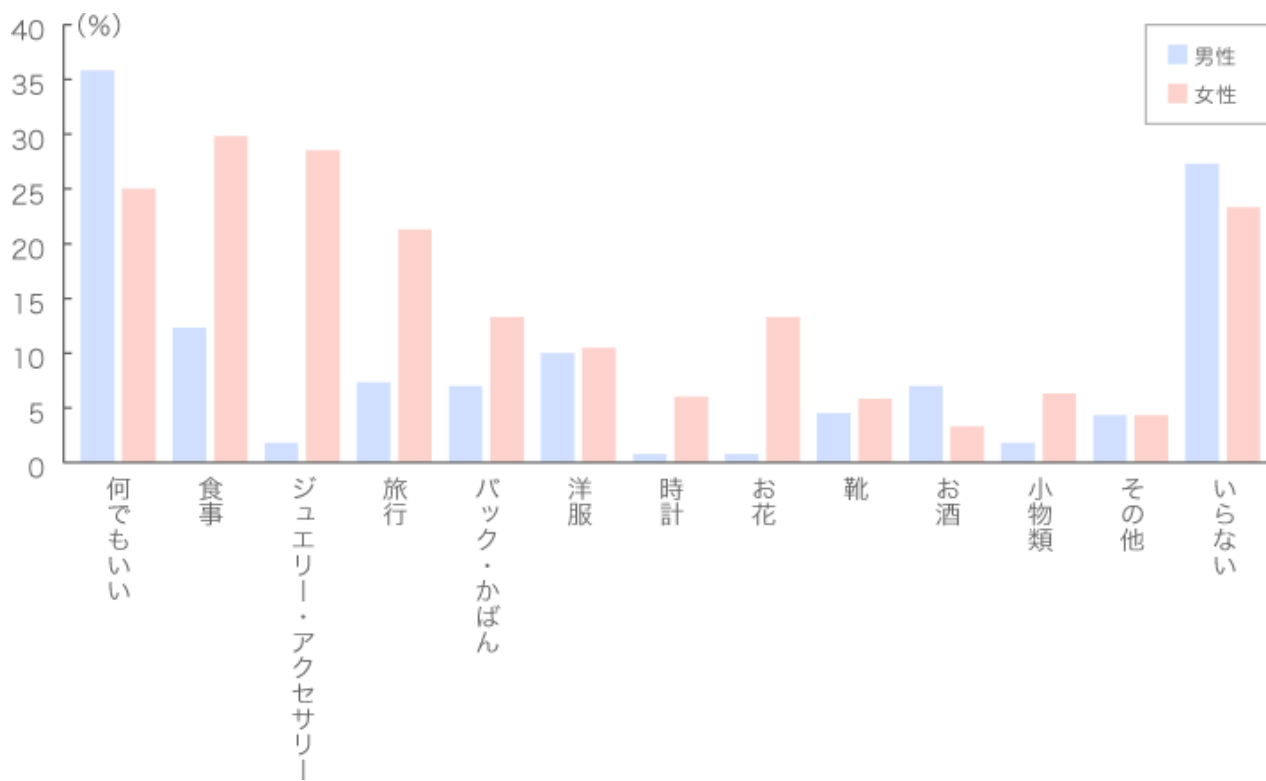
Q12. いい夫婦の日(11月22日)に記念日として何かするとしたら、何をしたいですか。

「全体では、「特別なことはしない」がトップで、54.1%に！前年は「食事に出かける」がトップで48.5%でした。具体的には、「食事に出かける」が31.8%。前年トップ2が入れ替わり、差は大きくなっています。次いで、「二人で又は家族で家でお祝いする(いつもより豪華な食事など)」(14.4%)、「旅行をする」(11.9%)がトップ3。震災の影響なども含め、「お祝いごと」に対する自粛モード気味であることが予測されます。



Q13. あなたがパートナーから記念日に欲しいプレゼントは何ですか。あてはまるものを全て教えてください。

全体では、「何でもいい」が30.4%で最も高くなっています。次いで、「食事」(21%)、「旅行」(20.4%)、「ジュエリー・アクセサリ」(11.5%)、「バック・かばん」(10.3%)が続いています。また、「いらない」が25.3%となっています。前年より具体的なほしいことポイントが下がり、「いらない」が5%以上上がっています。性別で見ると、「何でもいい」では男性35.8%に対し女性が25%で、男性の方が11ポイント高く、男性の方がパートナーからのプレゼントにこだわりを持っていないことが窺えます。女性は、「食事」(30%)・「旅行」(29%)・「ジュエリー・アクセサリ」(21%)がトップ3となっています。



※アンケート結果の使用に関しては、事前に事務局へ承諾を得てください。

※アンケート結果を使用する場合は、必ず出典名として“「いい夫婦の日」をすすめる会事務局”を入れてください。